

全日本自転車競技選手権ロードレース大会の開催地公募について

v5: 2011年7月

2012年度以降の全日本自転車競技選手権大会ロードレースの開催地を公募いたします。

日本の競技者にとって最大の目標のひとつである全日本選手権ロードレース大会は、開催地都道府県連盟と協力して運営されてきています。より安定的かつ長期的展望を以て早期に開催地が選定されるよう、下記基本条件のもとに開催地を公募いたします。実施にあたっては開催地との協議事項も多いため、応募地との協議を通じて開催地を決定することと致します。

記

応募資格者： 開催地都道府県自転車競技連盟または地方行政庁

応募要件： 原則として以下の条件を満たすこと。

開催日： 6月最終週 日曜日を最終日とする2日間

土曜日に2カテゴリ×2レース=4カテゴリのレース

日曜日に2カテゴリ×1レース=2カテゴリのレースが実施可能なこと

ただし、オリンピック開催年においては、4月後半から5月上旬の開催とする。

2012年においては、

4/14-15 から 5/12-13 の間の日曜日または祝日を含む日程とすること。

コース： ・公道を主体とする周回コースで JCF 基準に準拠したもの。

(原則として、適度な高低差のある周長10km以上の周回コース)

・フィニッシュ地点は原則として周回コース上にあること

・当該年のオリンピックまたは世界選手権のコースと類似していること

・エリート男子250km、女子140km程度の距離で実施可能なこと

アクセス：参加選手、観客のアクセスに適していること

(自動車、公共交通機関のいずれによっても近傍までアクセス可能なこと)

準備業務負担：道路使用許可、その他必要な許認可を開催地行政・都道府県連盟が取得

競技に直接関わる分野を本連盟にて準備

設営その他は協議による

競技役員：概ね10名程度の競技役員を中央派遣、

概ね25名程度の競技役員を開催地都道府県・近傍都道府県連盟より派遣。

(上記人数には総務員、交通規制にかかる立哨員を含まない)

費用負担：原則として競技運営に直接関わる費用は本連盟が負担する。

宿泊施設：チーム、競技役員関係者が宿泊可能な十分な数が周辺で確保されること。

(概ね1,000名程度以上)

駐車場：競技運営、観戦に必要な駐車台数がフィニッシュ地点近傍に確保されること。

雨天対応施設：式典・競技運営・選手控え等、雨天対応施設のあること。

会議施設：ラインセンスコントロール、監督会議等の開催可能な会議室のあること。

応募方法： 応募フォーマットに記入して E-MAIL にて応募する。

応募期限： 2012年開催地は2011年7月末、以降は毎年4月末まで

選考方法 原則として毎年の選手権大会開催時に翌年の立候補地を発表する。

応募状況に応じて適宜視察を行う。

毎年12月末までに翌年開催地決定・発表を原則とする。

上記応募要件をすべて充足することが必須条件、ではなく、

一部を充足しない場合も応募することができる。

以上

想定時程表 (案)

第1日 (土曜日)

8:00	男子 U17+U15	90km
8:05	女子ジュニア+U17	60km
11:00	男子 U23	180km
11:05	女子エリート	140km
18:00	表彰式	

第2日 (日曜日)

8:00	男子エリート	250km
8:05	男子ジュニア	130km
15:00	表彰式	

全日本自転車競技選手権ロードレース大会の開催地公募応募用紙

200 年 月 日記入

201 年度全日本選手権ロードレース大会開催地に応募します。

申請者： 名 称
代表者
住 所 〒
電 話・ファクシミリ・電子メール

開催日： 年 月 日から 月 日まで

場所・コース	所在		
	周長		km
	道路幅員	スタート地点	m
		フィニッシュ地点	m
		最大	m
		最小	m
		平均	m
	登坂高さ（1周あたり累積）		
	最大勾配		

最寄りの高速道路出口名称と出口からの移動距離
km 時間 分

最寄りの公共交通機関駅とそこからの移動手段・距離（タクシー等の場合）
km 時間 分

地元より派遣可能な競技役員数 名

宿泊施設の状況

駐車場等付帯施設の状況

添付書類： ロードコース平面図、高低差断面図、スタート&フィニッシュ地点詳細図
その他は申請者の判断による

問い合わせ連絡先

氏 名
住 所 〒

電 話
ファクシミリ
電子メール